

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

水稻におけるコブノメイガの発生予想パターンについて（第1報）

本年のコブノメイガについては、これまで本県への明らかな飛来を認めていませんでしたが、7月6半旬に成虫が一部のライトトラップで捕獲され、また水田でも発生が認められました。（表1）
つきましては、本田での防除の参照としていただくため、これらの情報を基に本虫の発生予想パターン（図1）をとりまとめましたので、参考としてください。

記

1. 飛来及び発生状況

- (1) 白石町に設置したライトトラップにおいて、7月6半旬に成虫の誘殺を認めた（表1）。
- (2) また、伊万里市の防除員の調査により、現地圃場において7月6半旬頃に発蛾最盛期と思われる成虫の発生を確認した。
- (3) 8月1日～3日に普通期水稻（48圃場）で実施した調査では、食害株率が2.8%（平年10.1%、前年1.8%）であり、平年よりやや少なく、前年並であった。
- (4) 隣県の長崎県でのフェロモントラップでの誘殺は、6月5半旬と6月6半旬を主体に誘殺されている。
- (5) 以上のことより、本県への飛来は6月6半旬頃であったと推察される。また、第1世代成虫の発蛾最盛期が7月6半旬頃にあったとみられる。

2. 防除対策

- (1) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認し、発蛾最盛期の7日後（幼虫ふ化揃い期）に防除を行う（図1）。

3. 今後の予想等

今後、新たな飛来がみられた場合には発生パターンが加わる可能性もあるため、最新の飛来状況については農業技術防除センターのホームページにおける「海外飛来性害虫情報」を参照する。

表1 コブノメイガの誘殺状況

月 日		コブノメイガ						
		佐賀県				長崎県		
		佐賀市 フェロモン トラップA	神埼市 粘着トラップ ^o (20W蛍光灯)	伊万里市 粘着トラップ ^o (20W蛍光灯)	白石町 粘着トラップ ^o (20W蛍光灯)	嬉野市 粘着トラップ ^o (20W蛍光灯)	諫早市 フェロモン トラップA	諫早市 フェロモン トラップB
6月	15日	0					0	0
	16日	0					2	0
	17日	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0					0	0
	19日	0					0	0
	20日	0					0	0
	21日	0	0	0	0	0	1	0
	22日	0					7	0.5
	23日	0					10	0.5
	24日	0	0	0	0	0	35	1
	25日	0					8	1
	26日	0					50	12.5
	27日	0					6	5
	28日	0	0	0	0	0	3	1
	29日	0					4	0.5
	30日	0					3	0.5
7月	1日	0	0	0	1	0	0	0
	2日	0					2	0
	3日	0					2	0.5
	4日	0					1	0.5
	5日	0	0	0	0	0	2	0
	6日	0					5	6
	7日	0					3	1
	8日	0	0	0	0	0	0	0.5
	9日	0					0	0
	10日	0					5	0.5
	11日	0					0	0.5
	12日	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0					0	0
	14日	0					0	2.5
	15日	0					0	1.5
	16日	0	0	0	0	0	1	6
	17日	0					0	3
	18日	0					0	3.5
	19日	0	0	0	0	0	0	4.5
	20日	0					0	1
	21日	0					0	2
	22日	0	0	0	0	0	0	0.5
	23日	0					0	0.5
	24日	0					0	0
	25日	0					0	4
	26日	0	0	0	3	0	0	7
	27日	0					3	0.5
	28日	0					0	5.5
	29日	0	0	0	7	0	2	7
	30日	0					3	8
	31日	0					3	8.5

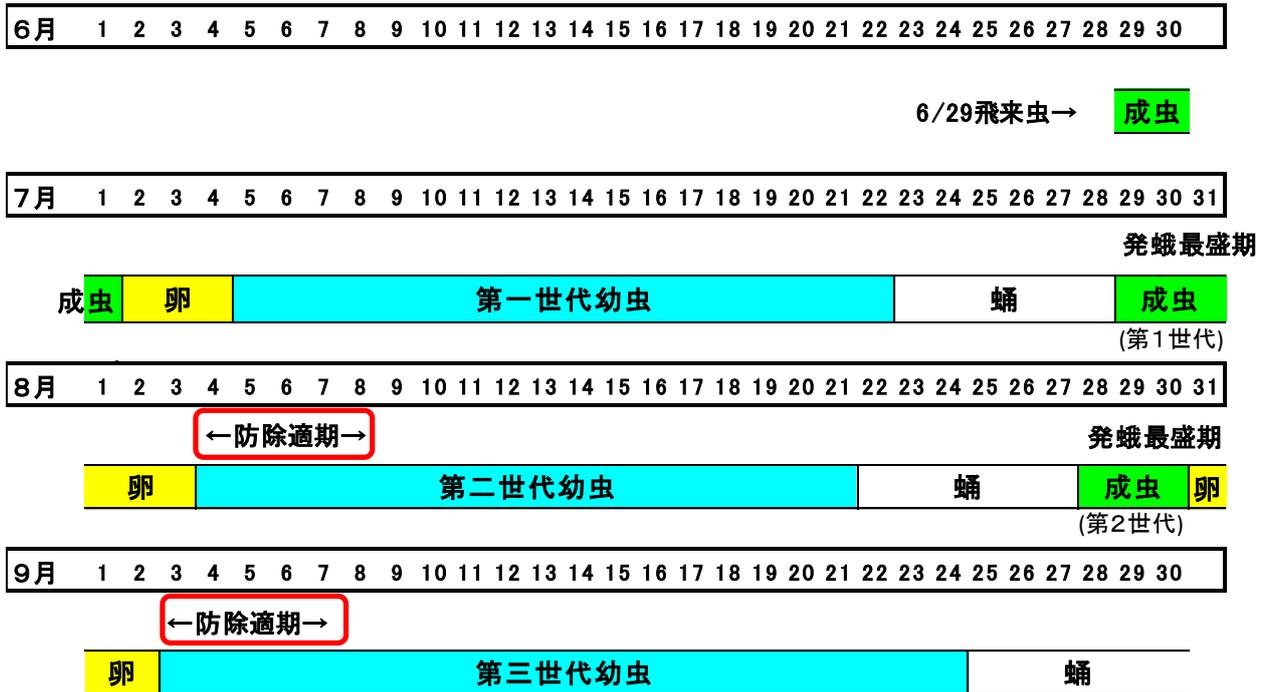
注1)コブノメイガ：神埼市、白石町、伊万里市、嬉野市は防除員が調査。

佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

長崎県のデータは、長崎県病害虫防除所提供。

図1 コブノメイガの発生予想パターン(第1版)

(平成27年8月5日作成、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

(1) 6月29日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(8月3日までは今年のデータ、8月4日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。

(2) **防除適期は、発蛾最盛期の7日後(幼虫ふ化揃い期)である。**

(3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。

(4) 今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、佐賀県農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/boujo.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照する。